

# 認知症ケアに関する活動報告

一般社団法人 日本介護支援専門員協会

## 都道府県支部による主な活動

### 1. 千葉県支部

千葉県における主任介護支援専門員の取組み

千葉県では、認知症に特化した専門職研修体系事業を平成 24 年度より開始。

- ・平成 24 年度の活動  
専門職研修体系及び研修プログラム案の作成
- ・平成 25 年度の活動  
平成 24 年度作成のプログラム案を基にモデル研修を実施
- ・次年度以降  
継続的に研修を実施することにより、全体のレベル向上を図る

### 2. 福岡県支部

福岡県認知症対応力向上研修

(福岡県の単独事業として県から委託を受け、介護支援専門員を対象に実施)

#### (1) 認知症の医学的理解 (福岡県医師会の認知症専門医による講義)

- ・発症原因による症状
- ・認知症に対する偏見や誤解
- ・認知症の最新情報
- ・認知症早期発見の意義
- ・軽度認知機能障害の特徴

#### (2) 認知症高齢者及び家族への支援方法 (福岡県認知症介護指導者による講義・演習)

- ・認知症高齢者及び家族との面談時におけるポイント
- ・認知症高齢者及び家族の心理
- ・認知症高齢者の早期発見とその対応方法
- ・認知症高齢者への権利意識の視点

### 3. 京都府支部

#### 京都認知症総合対策推進計画～京都式オレンジプラン～

##### 【プラン構成】

###### 認知症対策の方向性

とぎれない医療・介護のために「8つの課題」と課題に対する「目標と手段の方向性」を提起

###### 京都オレンジ指標

認知症対策の方向性で示した「目標」に対し、3つの共通方策と8つの個別方策からなる具体的な施策を提示

###### <共通方策>

- ①認知症ケアパスの作成・普及
- ②生活支援の実施
- ③あんしんナビによる情報発信

###### <個別方策>

- ①認知症理解
- ②早期発見・早期鑑別診断・早期対応の体制づくり
- ③医療体制づくり
- ④とぎれない介護サービス
- ⑤日常生活・家族支援
- ⑥認知症ターミナルケア
- ⑦地域格差是正
- ⑧若年性認知症

###### 介護支援専門員の役割

- ・介護支援専門員が直接かかわる形式のカフェ運営
- ・介護支援専門員を中心とした「認知症エキスパートケアマネジャー(仮称)」の育成を企画予定

###### 協会としての関わり

- ・プラン作成プロジェクトへの委員派遣  
(「医療・ケア連携部会」・「初期対応・地域部会」)

# 認知症の人の地域生活を支えるための多職種協働による支援体制（千葉県モデル）について（案）

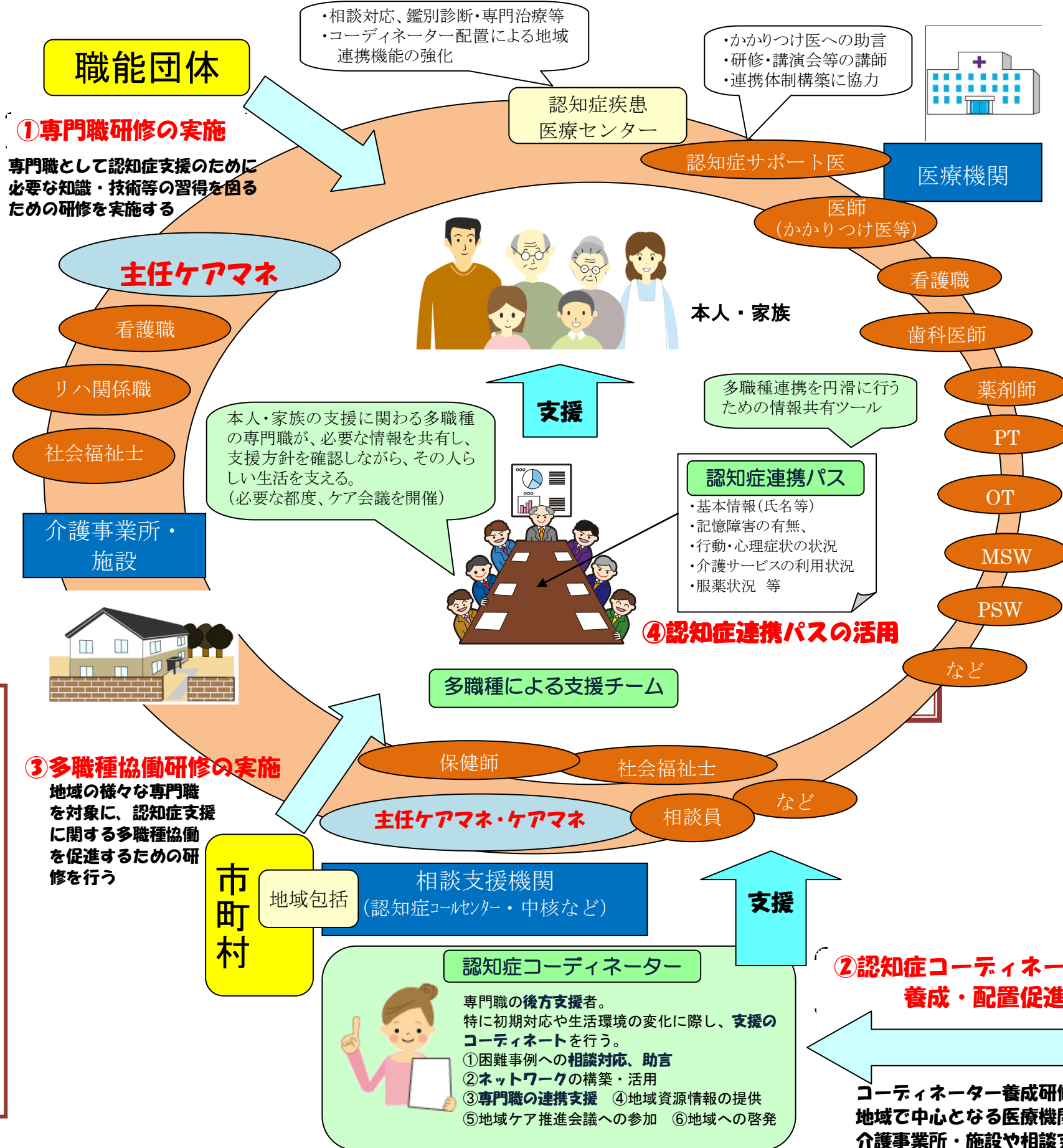
～人材育成プログラムの開発、コーディネーターの配置、連携促進ツールの開発～

## 【現状と課題】

- ・初期段階で適切な対応ができず、暴言、徘徊などの行動・心理症状が激しくなり、在宅生活が困難になる例が少なくない。
- ・入退院や入退所など生活環境が大きく変化する場面において、総合的・継続的に関わる支援者がいない。
  - 各専門職の認知症支援に関する知識・技術等の一層の向上が必要
  - 専門職や支援チームに対して、支援・助言する人がいない
- ・認知症の症状の進行、また身体合併症の発症・重度化に応じ、多種多様な専門職が関わるため、多職種がチームとして支援に当たることが不可欠だが、連携・協働がスムーズに進んでいない。
  - 他職種との顔の見える関係づくりや、連携・協働するための知識・技術等を習得する機会が不足
  - 多職種で情報共有を図るためのツールが整備されていない

## 【課題への対応】

- ・各専門職が認知症支援に関する知識・技術等の向上を図るための研修の実施
  - 職能団体による認知症支援に関する研修の充実・強化（①）**
- ・多職種による支援チームの円滑な活動を支援するための人材の養成
  - 認知症コーディネーターの養成・配置（②）**
- ・顔の見える関係づくり、多職種協働を促進するための研修の実施
  - 多職種協働研修の実施（③）**
- ・多職種協働を円滑に行うための情報共有用ツールの作成
  - 認知症連携パスの作成・普及（④）**



## スケジュール

平成24年度（地域医療再生基金を活用）

- 【県】
- ・多職種協働研修プログラム案の作成③
  - ・認知症コーディネーターのあり方、養成プログラム案の作成②
  - ・（委託）認知症連携パス（試案）のモデル地域での運用実践、評価④

【職能団体（県委託）】

専門職研修体系及び研修プログラム案の作成①

平成25年度（地域医療再生基金を活用）

- 【県】
- ・多職種協働研修のモデル実施、研修プログラム完成③
  - ・認知症コーディネーター養成研修のモデル実施、プログラム完成②
  - ・（委託）認知症連携パスのモデル地域での運用実践・評価を踏まえて標準様式完成④

【職能団体（県委託）】

専門職研修のモデル実施、研修体系・プログラムの完成①

平成26年度以降

- 【県】
- ・多職種協働研修運営資料の公開、研修開催促進③
  - ・認知症コーディネーターの養成、配置促進②
  - ・認知症連携パスの普及④

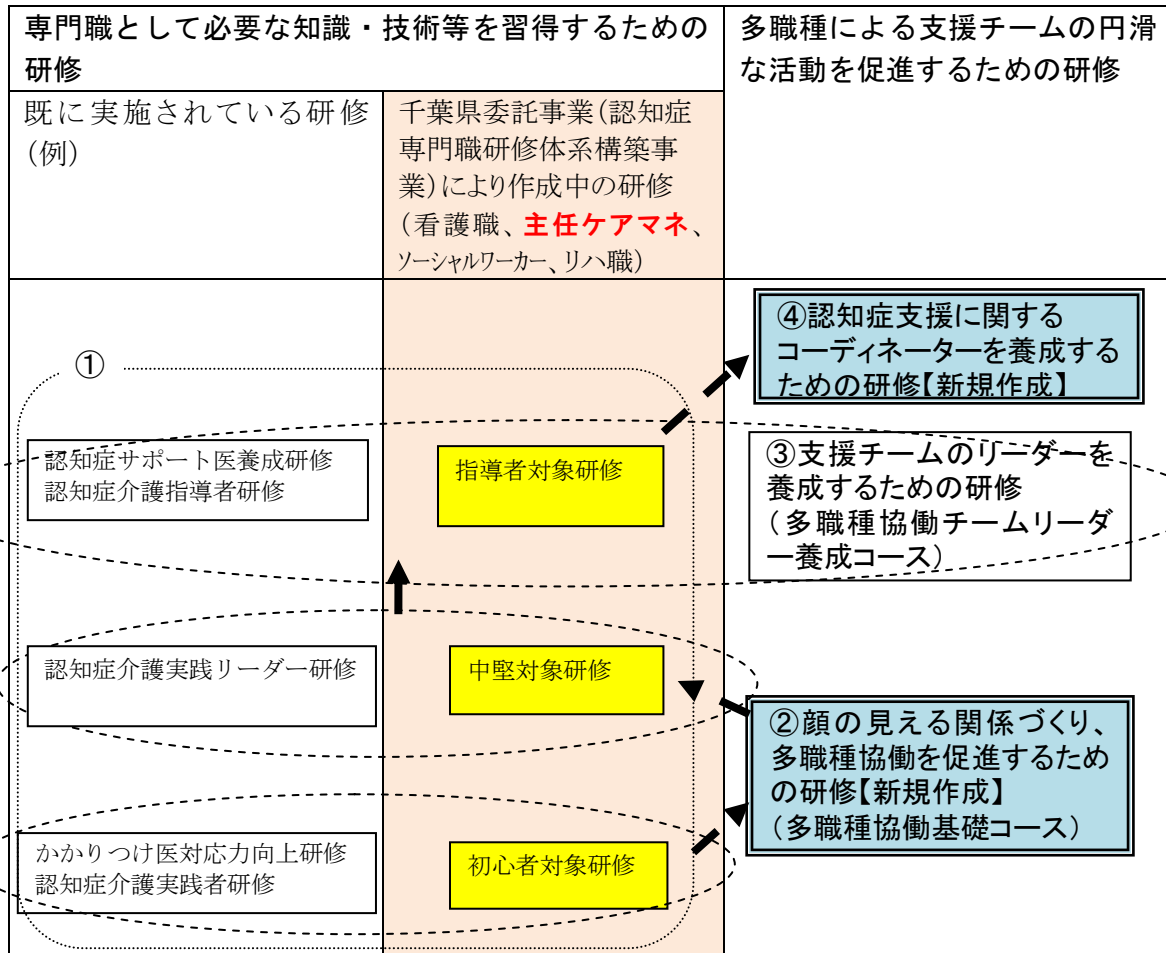
【市町村（地域包括）】

- ・多職種協働研修の実施③
- ・認知症コーディネーターの配置②

【職能団体】

- ・専門職研修の実施①
- ・県、市町村が実施する研修への協力②③

## 多職種協働による支援体制の構築に向けた研修体系について（案）



※矢印は、ステップアップのための研修（例）を示す。

### ①専門職として必要な知識・技術等を習得するための研修

多職種協働や連携を円滑に進めるため、専門職として必要な知識・技術等を習得するための研修。既存研修や千葉県委託「認知症専門職研修体系構築事業」を活用した研修の促進を図る。

### ②顔の見える関係づくり、多職種協働を促進するための研修（多職種協働基礎コース）

多職種が顔を合わせ、お互いの役割等を理解し、課題を共有できるような機会を設けるための研修。新たに研修体系及び研修プログラムを作成する。

### ③多職種による支援チームのリーダーを養成するための研修（多職種協働チームリーダー養成コース）

多職種による支援において、情報の共有、支援方針の決定、状況の変化に応じた支援計画の見直しなどに当たり、チームの中心となるリーダーを養成するための研修。当面、既存研修や千葉県委託「認知症専門職研修体系構築事業」における指導者対象研修を活用する。

### ④認知症支援に関するコーディネーターを養成するための研修

地域の主要な支援機関や専門職の特性を把握し、ネットワークを活用しながら、専門職に対する助言・支援や必要なサービスの紹介等を行うことができる人材を「認知症支援に関するコーディネーター」として養成するための研修。コーディネーターに求められる役割等を検討した上で、新たに研修体系及び研修プログラムを作成する。

# 認知症かも…

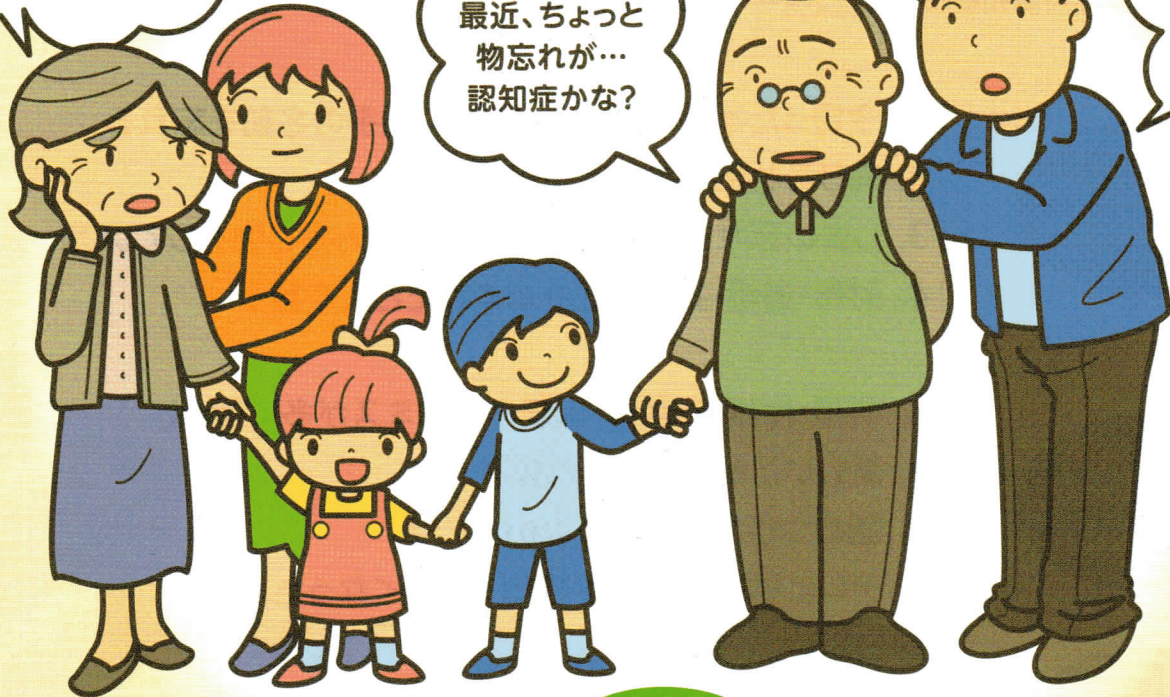
ひとりで  
悩んでいませんか？

認知症の人の  
介護について  
誰かに  
相談したい…

最近、ちょっと  
物忘れが…  
認知症かな？

介護が辛い…  
話を聞いて  
欲しい

利用できる  
サービスって  
なにがあるの？



京都府

## 認知症コールセンター

認知症のことで困ったら認知症コールセンターに電話しよう

フリーダイヤル **0120-294-677**

受付時間

月曜日～金曜日 10:00～15:00  
【土日、祝日、お盆(8月13日～8月16日)、年末年始(12月27日～1月5日)を除く】

相談料  
無料

- 認知症について、日頃から悩んでいること、疑問に思っていることを相談員(認知症介護経験者等)にご相談ください。
- 相談内容については、秘密を厳守します。
- 本事業は公益社団法人認知症の人と家族の会京都府支部が、京都府の委託を受け実施しています。

京都府 / 公益社団法人 認知症の人と家族の会 京都府支部



京都府広報監まゆまる

# 家族がつくった「認知症・早期発見のめやす」

これは、認知症の始まりではないかと思われる言動をまとめたものです。  
医学的な判断基準ではありませんが、いくつか思い当たることがあれば、  
京都府認知症コールセンターへご相談ください。

## もの忘れが ひどい

- 1. 今切ったばかりなのに、電話の相手の名前を忘れる
- 2. 同じことを何度も言う・問う・する
- 3. しまい忘れ・置き忘れが増え、いつも探し物をしている
- 4. 財布・通帳・衣類などを盗まれたと人を疑う

## 判断・理解力 が衰える

- 5. 料理・片付け・計算・運転などのミスが多くなった
- 6. 新しいことが覚えられない
- 7. 話のつじつまが合わない
- 8. テレビ番組の内容が理解できなくなった

## 時間・場所が わからない

- 9. 約束の日時や場所を間違えるようになった
- 10. 慣れた道でも迷うことがある

## 人柄が 変わる

- 11. 些細なことで怒りっぽくなった
- 12. 周りへの気づかいがなくなり頑固になった
- 13. 自分の失敗をひとのせいにする
- 14. 「このごろ様子がおかしい」と周囲から言われた

## 不安感が 強い

- 15. ひとりになると怖がったり寂しがったりする
- 16. 外出時、持ち物を何度も確かめる
- 17. 「頭が変になった」と本人が訴える

## 意欲が なくなる

- 18. 下着を替えず、身だしなみを構わなくなった
- 19. 趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった
- 20. ふさぎ込んで何をするのも億劫がりいやがる

※公益社団法人 認知症の人と家族の会作成『家族がつくった認知症早期発見のめやす』より

# 企業・店舗・商店街・事業所・学校などを募集しています!

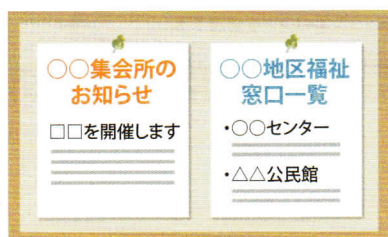
京都高齢者あんしんサポート企業



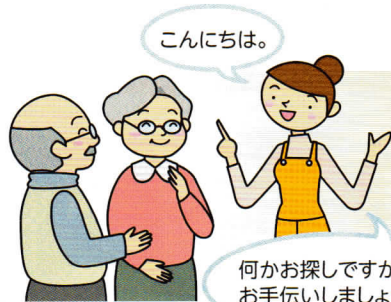
京都高齢者  
あんしん  
サポート企業  
とは?

高齢者が安心して暮らし続けられる地域づくりを実現するため、地域における情報発信拠点として高齢者向け情報の発信を担うとともに、**高齢者の孤独や不安の解消、特に認知症の方への対応に取り組む、高齢者にやさしい企業等**のことで。

## ▶ 京都高齢者あんしんサポート企業の役割



各事業所にて、**地域のお知らせや相談の窓口**などのご案内を掲示します。



買い物等でお越しになったお客さまへ、**声かけや買い物支援**を行います。

業務の中で、できる範囲でのご協力をお願いしています。

高齢者が住み慣れた地域(日常生活圏)で、安心して暮らし続けることができるよう医療・介護・福祉のサービスを一体的に提供できる仕組みづくりを行っています。

## ▶ 協力企業さまにとって

### 高齢者への対応スキルの向上



### 企業イメージの向上(人にやさしい企業)



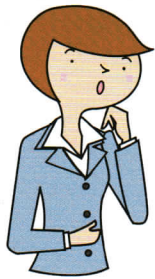
## 京都地域包括ケア推進機構

京都府・京都市など行政機関・医療・介護・福祉の39団体が構成されています。

〒604-8418 京都市中京区西ノ京東柵尾町6番地

TEL:075-822-3562(代表) FAX:075-822-3574

URL: <http://www.kyoto-houkatucare.org/>



# どうしたら「京都高齢者あんしんサポート企業」になれるの？

京都高齢者あんしんサポート企業としてご活躍いただくには、京都地域包括ケア推進機構が行う研修の受講をお願いします。

申込み



電話で

TEL:075-822-3562

メールで

Mail:houkatu3@pref.kyoto.lg.jp

パソコンで

京都高齢者あんしんサポート企業

検索

京都地域包括ケア推進機構で随時受付中！

研修内容は

あんしんサポート企業養成研修カリキュラム(標準)

内容	目的	標準時間
<b>I オリエンテーション</b> (1) 京都式地域包括ケアとは (2) あんしんサポート企業の意義と役割	① 京都式地域包括ケアについて理解する。 ② あんしんサポート企業の役割について理解する。	10分
<b>II 認知症サポーター研修</b> (1) 認知症とは何かを理解する (2) 認知症の症状について理解する	① 認知症とはどういう病気なのかを理解する。 ② 認知症の人や介護をしている人の支援の必要性を理解する。	60分
<b>III 高齢者向けの傾聴・接遇を学ぶ</b> (1) 高齢者とのコミュニケーションスキルを高める (2) 高齢者支援のロールプレイ	① 高齢者と接する際の心構えを理解する。 ② 高齢者の心身の状況を的確に把握し、サポートを行うためのコツを体得する。	70分

無料

研修

※研修の受講に際して、費用負担は一切ございません。



※10分休憩を予定 ※内容が変更になる場合があります

## 「京都高齢者あんしんサポート企業」として…

日常業務の中で  
・必要に応じ相談窓口の紹介をお願いします。  
・地域の情報発信拠点として、高齢者向け情報の発信をお願いします。



サポート企業にはグッズを配付いたします。

サポート企業の目印として、店舗等の入り口に掲示していただける**ステッカー・カウンター用プレート**をお配りいたします。

サポーターの皆さんには目印として**ピンバッジ・オレンジリング**をお配りいたします。

当機構のホームページ上に「あんしんサポート企業」として、企業名を掲載させていただきます。